

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- ・区役所
・会館
・会館
・会館
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・郵便局
・放送局

●元住吉西口(プレーン通り/井田中ノ町商店街通り)

- ・音楽教室
・ワインバー
・花屋
・鉄板焼
・ヘアサロン
・カフェ
・果物
・パン
・コーヒー専門店
・イタリア料理
・音楽教室
・音楽教室
・コインランドリー
・理容室
・接骨院
・ヘアサロン
・デザイン制作
・カフェ
・時計・貴金属

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- ・介護センター
・お茶
・鍼灸院
・介護センター
・古本・CD
・調剤薬局
・飲み食い処
・イタリア料理
・STEAK
・旅する珈琲屋
・Gステーション

●元住吉近郊

- ・喫茶室
●武蔵小杉近郊
・紅茶専門店・喫茶室
・蕎麦店
・珈琲店
・喫茶店
・喫茶店

●東横線沿線

- ・調剤薬局
・写真
・レストラン&バー
・調剤薬局
・カフェレストラン
・ジャズ喫茶

中原区役所5Fなかはらば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎プレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
(改築中)川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791

SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437
Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
MUI (旧もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
オステリア ポッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003
島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490
ヤマハ日吉センター 中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217
Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
つどとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022

みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963
金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
和式整体&整心の「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
凸と凹と 中原区木月2-10-3
綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863

シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076
そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
ショップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116

駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
Public House びあにしも 川崎市小川町16-15ヒロサビル103号Tel. 044-201-1668
オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
カンファーツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200
マシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記載は無料です。

MAGAZINE 発行人 塚田親一 スタッフ 松本泰夫 発行音楽好きな友の会 TEL:090-9398-2889 2019-6-16-800 Printngkx

M 7 July 2019 月号 MAGAZINE

●Motsumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会 http://ontomo.jp/

後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人 川崎市国際交流協会 人形劇団ひとみ座/rk-factory

7月7日(日) 13:30~ 音友会レコード倶楽部 Light Music (軽音楽ファンの集い) 元住吉駅側音友ハウス

7月21日(日) 13:30~ 音友会レコード倶楽部 Jazz Date (ジャズファンの集い) 元住吉駅側音友ハウス

7月18日(木) 12:10~ ランチャタイム・ロビーコンサート 川崎生涯学習プラザ



akko T.

●表紙: akko T.(高橋明子) 1970年東京生まれ。横浜在住。青山学院大学卒業後、ボーカリストとして横浜・都内のライブハウスで活動を始め...

Photo: Yoshiro Yasuda

連載06 akko JAZZ 4 U 夏です!!

akkoです。 あ〜あ。今年もどんだけ暑くなるんだらう。昔は「夏だ〜!やった〜!ひゃっほう!!」という感じだったのですが、シミ・シワを作る紫外線というのがやっかいに感じるように...



▲①SL&Y & THE FAMILY STONE/ GREATEST HITS

あれれ?“Jazz”なお話じゃないの?って感じですが、私の夏はこんな感じのファンクが鳴り響きます。この「SL&Y & THE FAMILY STONE」(写真①)に“Hot Fun In The Summertime”という曲が入っています。なんとも「夏の始まり」を感じさせてくれます。

ください。 次にご紹介したい7月の歌。私の歌の生徒さんで、とても品の良い素敵な女性がおり、その彼女に「夏を楽しむいい歌、あったら教えてください」と聞いたところ、元気よく、「あっせんせー!「暑い夏をぶっとばせ!」というのがあります」ですって。その曲のタイトルと、それを言っているお上品な彼女のお人柄とのギャップが大きすぎて、「ぶ〜〜!!!」と吹き出してしまいました。



▲②Those Lazy Hazy Crazy Days of Summer/Nat King Cole

一体どんな曲なんだろう?と調べたら、野外のお洒落なテーブルに座っている若者たちの周りをナット・キング・コールがウクレレを弾きながら軽やかに楽しい雰囲気歌っている曲した。“Those Lazy-Hazy-Crazy Days Of Summer”(写真②)が本当のタイトルです。あともう1曲、NY好きな私はこの歌も7月、ということでご紹介させていただきます!

高橋明子

いい! リチャード・ロジャースとロレンツ・ハートのコンビによる“Manhattan”です。いろいろな録音が残っていますが、私は、プロッサム・ディアリー(写真③)がピアノで弾き語りをしているスイートな雰囲気の演奏が好きです。



▲③Blossom Dearie/Blossom Dearie

歌詞の中に、“Mott St”(チャイナタウンのモット・ストリート)というのがあるのですが、この通りの7月の美しさを何と比較できるかしら?そのほか、マンハッタン街のいろんな風景が歌詞の中に出てきます。元気いっぱいな「7月、みなさんはどんな風に過ごされることでしょうか? みなさんにとって素敵な夏になりますように! Have a nice summer!! ◇7月号表紙に出させていただきます。関係者皆様へ心からお礼申し上げます! (とても楽しい経験をさせていただきましたー!!) 「音友会」とMマガジン、私も応援しています!

川崎市国際交流センター 2019 インターナショナル・フェスティバルin カワサキ 7月7日(日) 10時~16時30分



川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー 第79回 ランチャタイム・ロビーコンサート 7月18日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料

音友ハウス(元住吉駅西口徒歩1分 フルッコ2F) 7月7日(日) 13:30~ レコード倶楽部「軽音楽ファンの集い」 星と夏をテーマに... 皆さんの持ち寄りタイムで過ごします。

島倉 学ミュージックスクール プロ志望専門ヴォイス・トレーニング 30分無料体験レッスン実施中!

Music Enjoy Club 音楽好きな友の会 090-9398-2889 (担当:塚田)

島倉 学ミュージックスクール 歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

連載33 私とジャズ 松波陽介

『楽しむ』ことから始めるのも音楽である

先月は第一回元住吉ミュージック・フェスティバルの後記のためお休みさせていただきました。

改めて、会場に足を運ばれた皆様どうもありがとうございました! 平日の夕方というのに沢山の方にお越しいただき、大盛況のうちに開催できた事を非常に嬉しく思っております。またフェスティバルは第二回、第三回と続いてまいりますので今後も応援のほど、何卒よろしくお願致します!

さてもう夏盛りのこの季節ですが、私はあいも変わらず色々奔走しております。(貧乏暇なしです。笑) 今回はまた新しいバンドを組む機会があったので、そのバンドについて少しお話を。

以前からお話しておりますが、私は子どもの学習支援をする団体(フリースクール)でボランティアをしているのですが、その子どもたちの中にも音楽をやりたい、興味があるという生徒が何人かいて毎年バンドを組んで演奏する機会があります。今年は参加する生徒も多く、音楽を始めたばかりの子もいるのですが、なかなか考えさせられることが多くあります。そのフリースクールには学校に通うことに困難を抱える子どもたちが多く在籍しています。その理由は種々ではあるのですが、『人間関係』に何らかのつまずきを感じている子供が多く見受けられます。例えば相手の気持ちを考えることが苦手であったり、全体に合わせて行動することが苦手であったりや枚挙に遑がないですが、考えさせられるのはこの部分であります。音楽は確かに一人で完結することも出来ますが(例えば

弾き語りとか、ソロで演奏するとか)、何より音楽の醍醐味はみんなで合わせて音楽を作り上げたり、その過程を楽しむことかなと思っています。ですが、『人間関係』につまずきを感じている子どもたちは、自分が練習してきた事をやるだけで精一杯であったり、まるで自分一人でやっているかのように演奏してしまうことが練習中に多々あります。そうなってしまった時我々はどうやってその音楽の素晴らしさを伝えることが出来るのだろうか?という事を常に自問自答してしまうのです。きっと演奏に慣れてしまえば自然と周りの音も聞けるようになって、合わせる楽しさなんていうものは身についていくのかもしれませんが、なかなかそこまでいくのも一苦労なのです。そんな風になるまでに、本人の気は続くのだろうか、途中で諦めたり投げ出したりしないだろうか?という事を常に考えています。本当に考えたらキリのない話になってしまいますが...やはり自分もプレイヤーを目指していたし、そんな音楽の素晴らしさ、楽しさを何とか伝えたいのです。そのためには悩んで悩み続けなければいけないのかな、と思えました。『楽しむ』までの過程があってこそその音楽であるけれど、やはり『楽しむ』ことから始めるのも音楽であるとも言える、何だかパラドキシカルな話になってきましたが、そんな事を考えながら一夏を過ごしていきたいと思っています。



連載31 4ビートに首ったけ

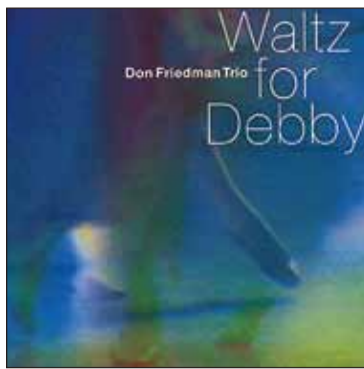
エバンス派?

そんな簡単にくくっちゃいけませんよね。

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹



▲①Circle Waltz/Don Friedman Trio



▲②Waltz for Debby/Don Friedman Trio

皆さんは“醤油派”ですか“ソース派”ですか?まあ世界を見渡せば“塩派”が多いのかな?もちろん目玉焼きの味付けの話ですよ。私は子供の頃はソース派でしたが、結婚したら奥さんの影響で醤油派になりました。半熟は特に醤油が美味しいですね。えっ、いい加減にしろって。はいはい、ジャズの話でしたね。ジャズピアノにも似たような“派”があるんですよ。そう、“パウエル派”と“エバンス派”ですね。まあ、ざっくり簡単に言っちゃうと、バド・パウエルに影響を受けて、黒人特有のファンキーでノリノリのピアノが“パウエル派”、ビル・エバンスのように弾きたくて、理知的でリリカルなピアノが“エバンス派”。(ちよっとざっくり過ぎるので、ジャズ通の方は目をつぶってくださいね)

そして、今回ご紹介させていただくのは“エバンス派”の筆頭とか後継者とか言われたピアニスト“ドン・フリードマン”です。ただ、同じ時期に活躍し始めたので、“エバンス派”と言うよりビル・エバンスの好敵手って立場じゃないのかな。それに二人には面白い因縁があるんですよ。ビル・エバンスを語る時に外せないベーシスト“スコット・ラファロ”はもともとドン・フリードマンが見出して一緒にやっていたそうです。それを、どういう事情があったかはわかりませんが、エバンスが引き抜いちゃった。そこでフリードマンは次のベーシストとしてチャック・イスラエルを起用しました。ところが、スコット・ラファロが事故死してしまい困ったエバンスは、またまたチャック・イスラエルを引き抜いちゃったんです。どーです?フリードマンとしてはやってられないですよ。それで“エバンス派”なんて言われたら、ちよっと面白くないんじゃないのかな?

さて、アルバムを紹介しますね。まず1枚目は1962年6月NY録音、「CIRCLE WALTZ」。これは紛れもない名

盤です。きっとドン・フリードマンはこのアルバムを残すためにこの世に産まれてきたのでしょうか。そしてこのアルバムに支えられ晩年までミュージシャン人生を全うし、このアルバムによって後世まで名を残す事になるはず。ではまず、1曲目、アルバムタイトル曲の“Circle Waltz”。これが絶品です。憂いを含んだメロディー、端正なコード進行、透明なピアノの響き、どれを取ってもビル・エバンスに匹敵する素晴らしさ。また、フリードマン特有の微妙な「間」があちこちに散りばめられていて、心憎い。かなり息の合ったトリオなんですよ。心に広がる音の風景は、忘れ難い記憶として残ることでしょう。2曲目以降も多少印象を変えながら質の高い演奏が続きます。私は4曲目から6曲目への流れが好きです。是非一度聴いてみて下さい。かなりお勧め度の高いアルバムです。

その後、ぱっとしない時期もあったのですが、1990年代、2000年代と録音の数が増えていきます。その頃のライブの動画は結構youtubeに上がっていて、どれも良いですよ。ベテランの余興などでは無く、生真面目にかつエネルギーに演奏しています。そしてなんとと言っても演奏後の笑顔が良い若い頃の神経質な感じは消えて、柔和で満ち足りた笑顔です。その頃のアルバム、2002年録音、「WALTZ FOR DEBBY」をご紹介しますね。エバンス派と言われているフリードマンにエバンス的な曲を演奏させると言う少々強引な企画なのですが、まあ、良いじゃないですか!まずは3曲目“Waltz For Debby”を聴いてください。エバンスの幻想的なムードよりタッチが強く躍動的で、子供が踊っているような演奏です。これもエバンスで有名な5曲目“You Must Believe In Spring”も聴いてみましょう。ふたりの目指す所は確かに重なるかもしれませんが、フリードマンはエバンスのように心を締め付けるのではなく、逆に楽にするような演奏なのかもしれない。全体的には決してエバンス的って事は無く、バラエティに富んでいて良いアルバムです。エイベイ・エイツと言う日本のレーベルから出ているんですよ。なかなかやりますね。

なんと言っても、麻薬などで死んでしまふ事なく、晩年まで第一線で活躍していた事が素晴らしいですね。

Jazz & Light Music

音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT



音楽好きな友の会 http://ontomo.jp/

音友会Report 2019年5月音友会の報告

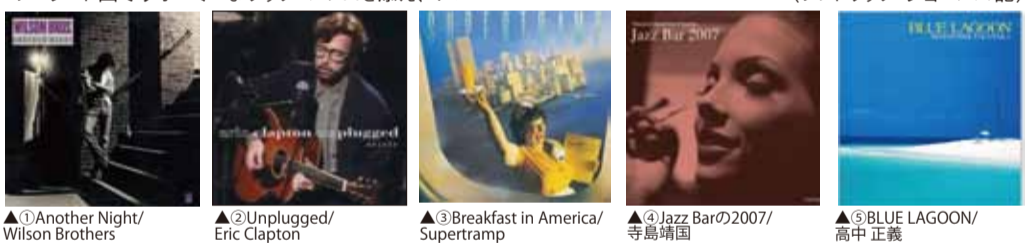
Light Music

軽音楽ファンの集い

ウィルソン・ブラザーズ唯一無二のアルバム“アナザー・ナイト”

令和になって初めての「Light Music」はゴールデンウイーク真っただ中の「こどもの日」のレコード倶楽部となりました。常連の方々から「10連休だけれどもやっぱり来てしまいました」と微笑みながら訪れ、楽しく開催されました。私も快晴の天候の中でひこうき雲が流れる光景を見ながら心地良い参加となりました。本日の特集は1979年に発表された「Another Night」(写真①)というステイヴとケリーから成るウィルソン・ブラザーズのただ1枚のアルバムです。この二人はジャンルでいうとポップ・カントリー系のデュオですが、爽やかなサウンドやハーモニーにドライブ感があり、時代の空気感をいっばいに背負って、思い切りスタイリッシュに仕上がっています。その要因の一つとしてはほぼ全編のギターソロにTOTOのステイヴ・ルカサーが多種多様な演奏で参加しており、いろいろな方がルカサー一世一代の名演アルバムと称賛している程です。また、それ以外にもアーニー・ワッツがいくつかのバラード曲でウオーミーなサクソ・ソロを添え、アルバ

ム全体もバランスよく制作されています。私自身はAORの隠れた名盤の1枚として是非、お勧めしたいと思えます。今回はそれ以外にもエリック・クラプトンの「Unplugged」(写真②)より名曲「レイラ」のアコギ版がかり、デレク&ドミノス時代の「レイラ」とはまた違った雰囲気です。また、昔なつかしい1979年発表スーパーランプの「Breakfast In America」(写真③)よりアルバムタイトルのポップな曲「Breakfast In America」、元ジャズ喫茶メグの店主寺島靖国氏プロデュースによるコンピレーションアルバム「Jazz Bar 2007」(写真④)よりジェームズ・パーソン・トリオの「A Dream Is A Wish Your Heart Makes」、高中正義のベストアルバム「Blue Lagoon」(写真⑤)より夏らしく「Blue Lagoon」、リビング・ストリングスの「ノスタリア」より「Three O'Clock in the Morning」等がかり、それぞれの曲に関する話題で盛り上がりました。(フレドリック・ジョーンズ記)



Jazz Date

ジャズファンの集い

3管編成バンドの先駆者はJ.J.ジョンソン・バンド?

令和元年、初のJazz Dateは好天候の中、軽音楽の集い同様多くの参加がありました。今回の特集は3管編成バンド特集でした。それまではどちらかというと2管編成バンド(Tp&Sax、あるいはSax&Tb)が主流でしたが、1958、9年頃から3管編成バンド(Tp, Sax, Tb)がブームとなりました。今回、聴いたアルバムは「ジャズテット」のファースト・アルバム「Meet The Jazztet」、3管編成になったアート・レイキーとジャズメッセンジャーズの「Free for All」、デクスター・ゴードンら渡欧組によるアルバム「A Day In Copenhagen」、そしてJ.J.ジョンソンの2枚(1953、4年録音の「Eminent J.J. Johnson Volume 1」、1959年録音の「J.J. Inc.」)です。どのバンドも3管による分厚いハーモニーのテーマ部、そしてそれに続く各楽器のアドリブは優れたメンバーのため、聴きごたえのある名演が多かったです。その中でも「Eminent J.J. Johnson Volume 1」(写真①)はJ.J.ジョンソンがブルー・ノート・レーベルに依頼され、クリフォード・ブラウン、ジミー・ヘースそしてリズムセクションは初代MJQのメンバーを集め、録音されたもので当時としては画期的なアルバムではなかったかと想像されます。また、「J.J. Inc.」に参加していたシダ・ウォルトンはこの後ジャズテットやジャ

ズメッセンジャーズに在籍する事となり、3管編成においてなくてはならないピアニストとなりました。持ち寄りタイムではディジー・ガレスビーの娘ジェニー・ブライソンが歌う「Some Cats Know」(写真②)から「アイ・ドント・ノウ・イナフ・アバウト・ユー」、ディキシーランド・ジャズ・バンドの楽しさを伝えるババ・ブーズ・バイキング・ジャズ・バンドの「Papa Bue's Viking Jazz Band 1969~71/ Down By The Riverside」(写真③)から「ミラー・ストップ」、昔懐かしいロイ・ジェームズ司会でメンバー紹介される日本の草分け的ジャズ・バンドの1つである「ビッグ・フォー/松本英彦(ts)、中村八大(p)、上田剛(b)、ジョージ川口(dr)」の公開放送番組向けの賃貸スタジオ「有楽町ビデオホール」でのライブ「Jazz At The Torsys」(写真④)より「テーマ(ラヴァー)およびメンバー紹介〜コットン・テイル」そして渡辺貞夫がゲスト参加した「ゼア・ウィル・ネヴァー・ビー・アナザー・ユー」。追悼という事で5月13日に亡くなったドリス・デいの曲をジャネット・サイデルが歌う「Doris & Me」(写真⑤)より「サンパティエー・ラブ・スミー〜ブルー・スカイズ」など日頃余り聴けない幅広いジャンルの曲を楽しんだ次第です。(フレドリック・ジョーンズ記)



7月7日のLight Music

軽音楽ファンの集い



▲Music of the sea /The Living Strings With Johnny Douglas

●7月7日(日) 13時30分〜「Light Music」(軽音楽ファンの集い) 星と夏をテーマに...皆さんとの持ち寄りタイムで過ごします。これからは気温が暑くなる季節...7日は七夕。夏になると思い出せる映画や名曲が沢山あります。これらをボサノバ、ジャズ、イージーリスニング、POPスタイルで持参のレコード、CDも含め「思い出の夏」特集を鑑賞します。

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

見上げる空がない

そんな夜を彷徨うのは久しぶりのことだ。生き方になんらかの迷いや葛藤がなければ、表現したいこともするべきこともなくなってしまふのがクワイエターだ。「今日はうまくいった」という感覚よりも、振り返るのが嫌なくらい、混沌とした胸中に向き合った方が良いと思う。しかし、言葉では簡単に言えるものの、行動に移すのはかなり難しい。振り返れば振り返るほど、「どうして上手くいかなかったんだ」と、迷宮に入ってしまうからだ。自分の現状を把握できてなかった頃は違っていて、今は「こうやりたい」ということがはっきりしている。だから、行き場のない「混沌」とした胸中に陥るのは珍しいことだった。ただ、自分が良くも悪くも失いかけていたもの、それを取り戻すことができたのが、先日コンテストの結果だった。結果は悔しいもの。むしろ、それを遥か超えて混沌とするものだ。それでも家に帰ってこれたのは、たくさんの方が観に来

てくれたからだ。それ以外は、振り返るのも心苦しかった。

何が良くなかったのか、何が足りなかったのか、なんとなく苦笑いしてお茶を濁すわけには心が納得いかず、私は閉場を待った。ダメでした。だけで帰るわけにはいかなかった。

修正の方法は自分で考えるとしても、きっかけは欲しい。振り返るのが悔しくてしかたがなくても、この気持ちに立ち向かっていきたい。感情的にはなく、成長するために冷静に。

ライブはコンテストではないけれど、あんな混沌とした思いは二度としたくない。良いライブをしていきたい、楽しんでもらいたい。そして、自分の成長に繋げたい。



▲牧野ケント

Course Addicted to Guitar-15 永瀬 晋

「ジャズっぽいリズム」その2

お世話になっております。今月もまたギターを始めたばかりの方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。

今回はジャズセッション初心者向けのネタの続きをご紹介します。前回ご紹介しました「ジャズっぽいリズム」を実際に使ってコード進行を弾いてみましょう。この図のコード進行はKeyCにおけるジャズブルースの進行です。デュークエリントンのC Jam bluesが有名ですね。コードの数が少々多いですが、「シエルポイシング」と呼ばれる3音で構成されているコードですので、比較的指も楽に抑えられると思います。これが弾ければジャムセッションも参加できますので、是非チャレンジしてみてください!

という訳でまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール SouleaveMusic School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

7月21日のJazz Date

ジャズファンの集い ▲Meet the Jazztet/Art Farmer Benny Golson



●7月21日 13時30分〜「Jazz Date」(ジャズファンの集い) 一言で女性ヴォーカルと言っても実に個性豊か。今回は1950年代から2000年以降までのヴォーカリスト達をピックアップします。彼女たちの感情を込めた歌声、様々な声質やフィージングなどの魅力を皆さんで楽しみましょう。